

[島根女子短期大学紀要 Vol. 24, p. 103~113(1986)]

街頭撮影からみた婦人の着装傾向(第3報)

—— 春・秋の衣服について ——

藤 井 一 枝・阿 部 邦 子
(被服構成学研究室) (元本学教授)

A Research into the Trend of Women's Dressing through Photographs Taken in the Street

— On Spring and Autumn Clothes —

Kazue FUJII, Kuniko ABE

I. 緒言

流通機構の進歩により、よりよい既製服が地方にまで普及している今日、婦人の服装傾向はますます多様化、個性化してきたと思われる。そこで、最近の地方における婦人の着装傾向を消費者側から把握するために、街頭での写真撮影を行っている。夏および冬についての結果は本学紀要^{1),2)}に発表したもので、今回は春と秋の結果について報告する。

II. 研究方法

本学紀要^{1),2)}と同様に婦人の買い物客を対象として同一の場所で、400mm望遠レンズ付カメラを用いて街頭撮影を行った。撮影日の気象条件は表1に示す

表1 撮影日の気象

(松江地方気象台より)						
季節	年 月 日	天 候	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	相対湿度 (%)
秋	1982. 10. 30	うす曇のち晴	16.1	21.6	11.3	83
	1982. 11. 6	晴	15.8	20.0	11.3	88
	1982. 11. 13	曇のち晴	13.1	18.9	9.2	77
春	1983. 4. 22	雨のち晴	16.4	18.9	14.8	66
	1983. 4. 23	晴	15.2	20.3	9.1	55
	1983. 4. 24	快晴	15.1	23.6	6.3	59

通りである。秋と春の気温は大体同じであるが、秋には低い日もみられる。撮影時刻は午後1時より午後5時までの雨の降らない日を選んだ。撮影総枚数は春1,086枚、秋1,158枚で、同一人物が重複し

たり、服装の形態が読みとれないものは除去し、実調査人数は春857人、秋964人である。まず、実調査人数の各々について外観より若・中・老年層の3段階に分類した結果、春は若年層298人、中年層379人、老年層180人、秋は若年層337人、中年層435人、老年層192人となった。その後、カラー写真より着装形態、衿の形、スカートの形、服種別色系統、および上衣と下衣の色系統の組み合わせを読み取って集計した。

III. 結果および考察

1. 着装形態

春・秋の着装形態の種類は夏・冬に比べて非常に多く、春86通り、秋81通りとなったので、表2-1、2は最外层衣服の組み合わせ形態としてまとめたものである。表より、パンツ形式の着装率は若年層が春23.5%、秋25.2%で、他の年代層に比べて大きい。きもの形式は中年層の一人を除いて老年層にのみみられ、その着装率は春6.1%、秋6.9%と少ない。次に最外层衣服の組み合わせ形態をみると、春は若年層でセーターとスカートが16.8%、ジャケットとスカートが12.8%と多く、中年層はベストとスカート18.7%、ジャケットとスカート17.7%が高率を示している。老年層はカーディガンとスカートが26.6%と若・中年層に比べて高い着装率を示し、次いでベス

表 2-1 年代層別着装形態（春）

年代層	若年層		中年層		老年層		全 体		
	人	%	人	%	人	%	人	%	
最外層衣服									
ス カ ー ト 形 式	長コートとスカート	3	1.0	20	5.3	8	4.5	31	3.6
	ジャケットとスカート	38	12.8	67	17.7	24	13.3	129	15.1
	ジャンパーとスカート	16	5.4	18	4.7	2	1.1	36	4.2
	カーディガンとスカート	28	9.4	54	14.2	48	26.6	130	15.2
	ワンピース	9	3.0	15	4.0	8	4.5	32	3.7
	ブラウスとスカート	20	6.7	14	3.7	4	2.2	38	4.4
	ジャンパースカート	4	1.3	6	1.6	6	3.3	16	1.9
	セーターとスカート	50	16.8	39	10.3	5	2.8	94	11.0
	トレーナーとスカート	17	5.7	1	0.3	0	0.0	18	2.1
	ベストとスカート	29	9.7	71	18.7	27	15.0	127	14.8
	スーツ（ツープースを含む）	14	4.7	28	7.4	8	4.5	50	5.8
小 計	228	76.5	333	87.9	140	77.8	701	81.8	
パ ン ツ 形 式	長コートとパンツ	0	0.0	0	0.0	2	1.1	2	0.2
	ジャケットとパンツ	11	3.7	12	3.2	11	6.1	34	4.0
	ジャンパーとパンツ	9	3.0	1	0.3	0	0.0	10	1.2
	カーディガンとパンツ	3	1.0	2	0.5	5	2.8	10	1.2
	ブラウスとパンツ	5	1.7	0	0.0	0	0.0	5	0.6
	セーター・ポロシャツとパンツ	13	4.4	16	4.2	4	2.2	33	3.9
	トレーナーとパンツ	22	7.4	5	1.3	1	0.55	28	3.3
	ベストとパンツ	7	2.3	10	2.6	5	2.8	22	2.6
	パンツスーツ	0	0.0	0	0.0	1	0.55	1	0.1
小 計	70	23.5	46	12.1	29	16.1	145	16.9	
きもの形式	0	0.0	0	0.0	11	6.1	11	1.3	
総 合 計	298	100.0	379	100.0	180	100.0	857	100.0	

トとスカートが15.0%と続いている。秋は若年層でセーターとスカートが26.1%と春より着装率が高く、次いでカーディガンとスカートが11.6%と続いている。中年層は若年層と同様にセーターとスカート18.2%が第1位を占め、次いでベストとスカート16.1%である。老年層は春と同様にカーディガンとスカートが23.7%と最も高く、次いでベストとスカートが16.3%を示した。また、若年層は下衣に関係なくセーター、ポロシャツ、トレーナーが中・老年層より多く着用されることがわかった。ところで、この表は最外層衣服の着装形態であり、ジャケットとスカートの組み合わせには12種類と最外層衣服の組み合わせの中で最も多くの着装形態が含まれており、次いでジャンパーとスカート、カーディガンとスカートがそれぞれ9種、ベストとスカートには7種の着装形態が含まれている。そこで、次に春86通り、秋81通りの着装形態の中から上位21種の着装形態を示すと、表3-1、2の通りである。春の主な着装形態としてブラウス+カーディガン+スカート、ブラウス+ジャケット+スカート、ブラウス+ベスト+スカートの

3種があげられる。年代層別には若年層はセーターとスカートが1位に対して、中年層で4位、老年層では17位と低い。一方、老年層はワンピースとカーディガンが3位と上位を占めているのに対して中年層で11位、若年層では21位以内にはみられない。秋では、若年層でセーターとスカートが1位と春と同じであるが、着装割合は大きい。また、中年層においても、セーターとスカートが12.7%で1位を占めている。老年層はワンピースが11.6%で1位を占め、中年層においても2位と高率を示している。このように、春と秋では気温が同じか、秋には低い日もみられたのに秋の方が春に比べてワンピースやセーターとスカートのように着装形態が軽装になっている。これは一般に向寒期の秋が向暖期の春よりも着衣重量は少ないといわれることと関係があるものと考えられる。また、春86通りのうち、若年層60通り、中年層57通り、老年層47通りであり、秋81通りでは、若年層56通り、中年層61通り、老年層43通りとなり、いずれも老年層の着装形態の種類は少ない。これは老年層がオシャレよりも防寒などの機能性の面を重

表2-2 年代層別着装形態（秋）

年代層		若年層		中年層		老年層		全 体	
		人	%	人	%	人	%	人	%
ス カ ー ト 形 式	長コートとスカート	0	0.0	2	0.5	1	0.5	3	0.3
	ジャケットとスカート	17	5.0	48	11.0	26	13.7	91	9.5
	ジャンパーとスカート	21	6.2	25	5.7	2	1.1	48	5.0
	カーディガンとスカート	39	11.6	44	10.1	45	23.7	128	13.3
	ワンピース	7	2.1	43	9.9	22	11.6	72	7.5
	ジャンパースカート	10	3.0	8	1.8	1	0.5	19	2.0
	ブラウスとスカート	17	5.0	9	2.1	4	2.1	30	3.1
	セーターとスカート	88	26.1	79	18.2	8	4.2	175	18.2
	トレーナーとスカート	8	2.4	0	0.0	0	0.0	8	0.8
	ベストとスカート	30	8.9	70	16.1	31	16.3	131	13.6
	スーツ（ツープースを含む）	15	4.5	46	10.6	5	2.6	66	6.9
	小 計	252	74.8	374	86.0	145	76.3	771	80.1
パ ン ツ 形 式	ジャケットとパンツ	4	1.2	9	2.1	8	4.2	21	2.2
	ジャンパーとパンツ	13	3.8	5	1.1	2	1.0	20	2.1
	カーディガンとパンツ	11	3.3	4	0.9	13	6.8	28	2.9
	ブラウスとパンツ	3	0.9	4	0.9	0	0.0	7	0.7
	セーターとパンツ	24	7.1	22	5.1	3	1.6	49	5.1
	トレーナーとパンツ	19	5.6	1	0.2	0	0.0	20	2.1
	ベストとパンツ	7	2.1	13	3.0	6	3.2	26	2.7
	パンツスーツ	4	1.2	2	0.5	0	0.0	6	0.6
	小 計	85	25.2	60	13.8	32	16.8	177	18.4
き も の 形 式	0	0.0	1	0.2	13	6.9	14	1.5	
総 合 計	337	100.0	435	100.0	190	100.0	964	100.0	

表3-1 年代層別主な着装形態（春）

若 年 層			中 年 層			老 年 層		
順位	着 装 形 態	人数 着装率 (%)	順位	着 装 形 態	人数 着装率 (%)	順位	着 装 形 態	人数 着装率 (%)
①	セーター＋スカート	29 9.8	①	ブラウス＋ジャケット＋スカート	38 10.0	①	ブラウス＋カーディガン＋スカート	26 14.4
②	ブラウス＋カーディガン＋スカート	24 8.1	②	ブラウス＋ベスト＋スカート	35 9.2	②	ブラウス＋ジャケット＋スカート	13 7.2
③	ブラウス＋ジャケット＋スカート	23 7.7	③	ブラウス＋カーディガン＋スカート	23 6.0	③	ワンピース＋カーディガン	12 6.7
④	ブラウス＋ベスト＋スカート	21 7.1	④	セーター＋スカート	23 6.0	④	ブラウス＋ベスト＋スカート	11 6.1
⑤	ブラウス＋スカート	20 6.7	⑤	長コート＋スカート	20 5.2	⑤	き も の	11 6.1
⑥	ブラウス＋セーター＋スカート	19 6.4	⑥	ワンピース＋ベスト	16 4.2	⑥	ワンピース＋ベスト	10 5.6
⑦	トレーナー＋パンツ	13 4.4	⑦	ワンピース	15 3.9	⑦	長コート＋スカート	8 4.4
⑧	トレーナー＋スカート	12 4.0	⑧	ブラウス＋セーター＋スカート	14 3.7	⑧	ワンピース	8 4.4
⑨	ブラウス＋スーツ	11 3.7	⑨	ブラウス＋スカート	14 3.7	⑨	ワンピース＋ジャケット	6 3.3
⑩	セーター＋パンツ	10 3.4	⑩	セーター＋ジャケット＋スカート	12 3.2	⑩	ブラウス＋ジャンパー＋スカート	5 2.8
⑪	ブラウス＋トレーナー＋パンツ	8 2.7	⑪	ワンピース＋カーディガン	12 3.2	⑪	ジャケット＋スカート	4 2.2
⑫	ワンピース	8 2.7	⑫	ス ー ツ	11 2.9	⑫	ブラウス＋スカート	4 2.2
⑬	ブラウス＋ジャンパー＋スカート	7 2.4	⑬	ブラウス＋スーツ	11 2.9	⑬	ブラウス＋スーツ	4 2.2
⑭	セーター＋ジャケット＋スカート	6 2.0	⑭	ブラウス＋ジャンパー＋スカート	11 2.9	⑭	ブラウス＋カーディガン＋スカート	4 2.2
⑮	ブラウス＋トレーナー＋スカート	5 1.7	⑮	セーター＋カーディガン＋スカート	8 2.1	⑮	ブラウス＋ベスト＋カーディガン＋スカート	3 1.6
⑯	ブラウス＋パンツ	5 1.7	⑯	ブラウス＋ベスト＋スーツ	8 2.1	⑯	ブラウス＋ベスト＋スーツ	3 1.6
⑰	セーター＋ベスト＋スカート	4 1.4	⑰	ブラウス＋セーター＋パンツ	8 2.1	⑰	セーター＋スカート	3 1.6
⑱	ブラウス＋ジャケット＋パンツ	4 1.4	⑱	ブラウス＋ベスト＋パンツ	8 2.1	⑱	ス ー ツ	3 1.6
⑲	長コート＋スカート	3 1.0	⑲	ブラウス＋ジャケット＋パンツ	7 1.8	⑲	セーター＋カーディガン＋スカート	2 1.1
⑲	ブラウス＋ベスト＋ジャケット＋スカート	3 1.0	⑲	ワンピース＋ジャケット	7 1.8	⑲	スーツ＋カーディガン	2 1.1
⑲	ポロシャツ＋ジャンパー＋スカート	3 1.0	⑲	ポロシャツ＋カーディガン＋スカート	6 1.6	⑲	セーター＋ベスト＋スカート	2 1.1
	合 計	238 80.3		合 計	307 80.6		合 計	144 79.5

表3-2 年代層別主な着装形態（秋）

若 年 層				中 年 層				老 年 層			
順位	着 装 形 態	人数	着 装 率 (%)	順位	着 装 形 態	人数	着 装 率 (%)	順位	着 装 形 態	人数	着 装 率 (%)
①	セーター+スカート	49	14.5	①	セーター+スカート	55	12.7	①	ワンピース	22	11.6
②	ブラウス+セーター+スカート	34	10.1	②	ワンピース	42	9.7	②	ブラウス+カーディガン+スカート	17	9.0
③	ブラウス+カーディガン+スカート	23	6.8	③	ブラウス+カーディガン+スカート	30	6.9	③	ワンピース+カーディガン	16	8.4
④	ブラウス+ベスト+スカート	20	5.9	④	ブラウス+ベスト+スカート	28	6.4	④	き も の	13	6.9
⑤	ブラウス+スカート	17	5.0	⑤	ブラウス+スーツ	23	5.3	⑤	ブラウス+ベスト+スカート	10	5.3
⑥	トレーナー+パンツ	15	4.4	⑥	ブラウス+ジャケット+スカート	22	5.1	⑥	セーター+カーディガン+スカート	10	5.3
⑦	セーター+パンツ	12	3.6	⑦	ブラウス+セーター+スカート	21	4.8	⑦	ブラウス+ジャケット+スカート	9	4.8
⑧	ブラウス+ジャケット+スカート	9	2.6	⑧	セーター+ベスト+スカート	16	3.7	⑧	ブラウス+カーディガン+パンツ	9	4.8
⑨	セーター+ジャンパー+スカート	8	2.3	⑨	セーター+パンツ	14	3.2	⑨	ワンピース+ベスト	8	4.2
⑨	セーター+カーディガン+スカート	8	2.3	⑩	セーター+ジャンパー+スカート	12	2.8	⑩	セーター+ジャケット+スカート	7	3.7
⑨	ブラウス+ジャンパースカート	8	2.3	⑩	ブラウス+ベスト+スーツ	12	2.8	⑩	ワンピース+ジャケット	7	3.7
⑫	ワンピース	7	2.1	⑩	ス ー ツ	12	2.8	⑩	セーター+スカート	7	3.7
⑫	セーター+ベスト+スカート	7	2.1	⑬	セーター+スーツ	10	2.3	⑬	セーター+ベスト+スカート	6	3.2
⑫	ブラウス+スーツ	7	2.1	⑭	ブラウス+スカート	9	2.1	⑭	ブラウス+スカート	4	2.1
⑫	ブラウス+ベスト+パンツ	7	2.1	⑭	ワンピース+ジャケット+スカート	9	2.1	⑭	ス ー ツ	4	2.1
⑫	ブラウス+セーター+パンツ	7	2.1	⑯	ワンピース+ベスト	8	1.8	⑭	ブラウス+ジャケット+パンツ	4	2.1
⑯	ブラウス+ジャンパー+スカート	6	1.8	⑰	ブラウス+セーター+パンツ	7	1.6	⑰	セーター+ジャケット+パンツ	3	1.6
⑯	ブラウス+ジャンパー+パンツ	5	1.5	⑰	ブラウス+ベスト+パンツ	7	1.6	⑰	セーター+カーディガン+パンツ	3	1.6
⑯	セーター+ジャンパー+パンツ	5	1.5	⑱	セーター+カーディガン+スカート	6	1.4	⑱	ブラウス+ベスト+パンツ	3	1.6
⑯	セーター+カーディガン+パンツ	5	1.5	⑲	ブラウス+ジャンパースカート	6	1.4	⑲	セーター+ベスト+スーツ	3	1.6
⑯	ポロシャツ+パンツ	5	1.5	⑳	セーター+ジャンパー+パンツ	5	1.2	⑳	ブラウス+ベスト+スーツ	2	1.1
	合 計	264	78.1		合 計	354	81.7		合 計	167	88.4

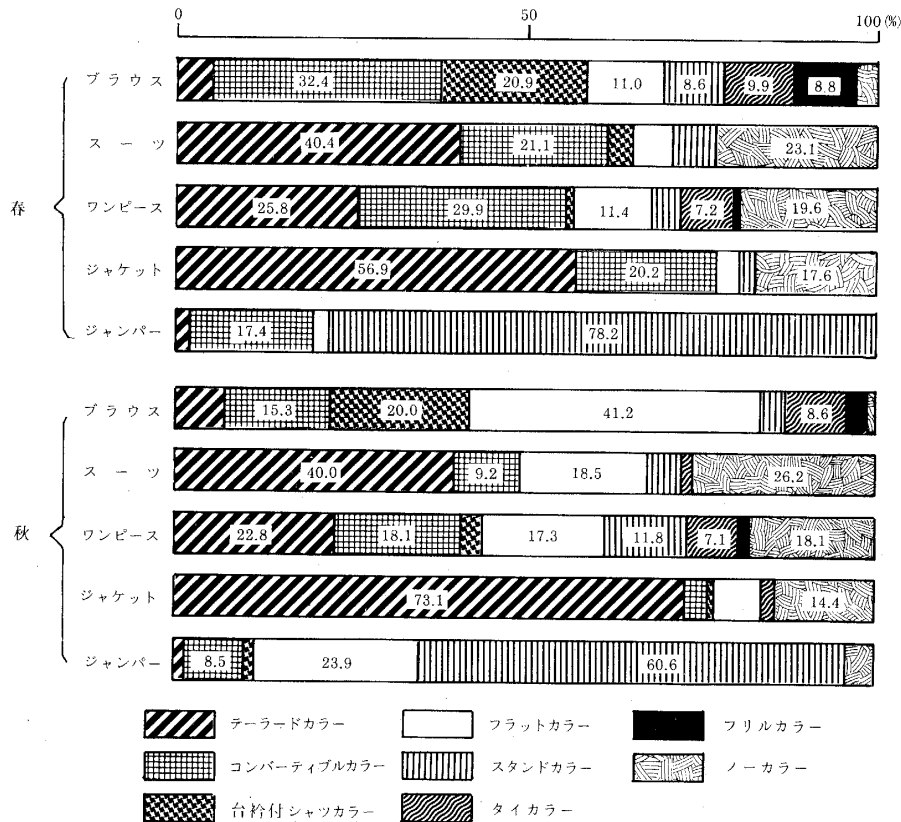


図1 服種別衿の形

視するためではないかと推察される。

2. 衣服の形

1) 衿の形

服種別に春・秋の衿の形を示すと図1の通りである。ブラウスの衿についてみると、春はコンバーティブルカラーが32.4%と1位で、次いで台衿付シャツカラーが20.9%である。秋はフラットカラーが41.2%と1位を示し、次いで台衿付シャツカラー、コンバーティブルカラーが続いており、春と秋では若干異なっている。また、表は省略したが、年代層別にはテーラードカラー、コンバーティブルカラーは高年代層に多く、台衿付シャツカラーは若年層に多くなる傾向がみられた。スーツ、ジャケットの衿はテーラードカラー、ノーカラーが多く、タイカラー、台衿付シャツカラーは少なくなっている。また、ジャンパーの衿はスタンドカラーが春・秋とも過半数を占めて多い。このように衿の形は服種によって異なることがわかった。

2) スカートの形

前報と同様にスカートの形をタイトスカート、ボックス・片ひだスカート、総プリーツスカート、ギ

ャザースカート、ジャンパースカート、フレアースカート、キュロットスカートの7種に分類して着装率を求めた。その結果は図2に示す通りである。全体では、タイトスカートは春34.2%に対して秋は26.9%と小さい。すなわち、向暖期の春は冬の37.2%に近い値を示すことから、防寒にはタイトスカートが多く着用されるものと推察される。また、春・秋ともボックス・片ひだスカートは最高の着装率を示すことから、このスカートの形は季節に関係なくどの年代層にも気軽に着用できる形と思われる。年代層別には、老年層はタイトスカートが比較的多く着用され、中年層はボックス・片ひだスカートが高い着装率を示し、若年層は形にとらわれないで種々のスカートが着用されるものと推察される。

3. 衣服の色

前報と同様にカラー写真より服装の色を判定するのに実際の服装の色と写真の色とが必ずしも同一でないため、色の濃淡や近い色相を区別することは困難なことから13種類の色系系統に大分類した。結果は表4に示す通りである。但し、表の中で着用数が10人以下と少ないものの着用率の算出は無意味と考えて

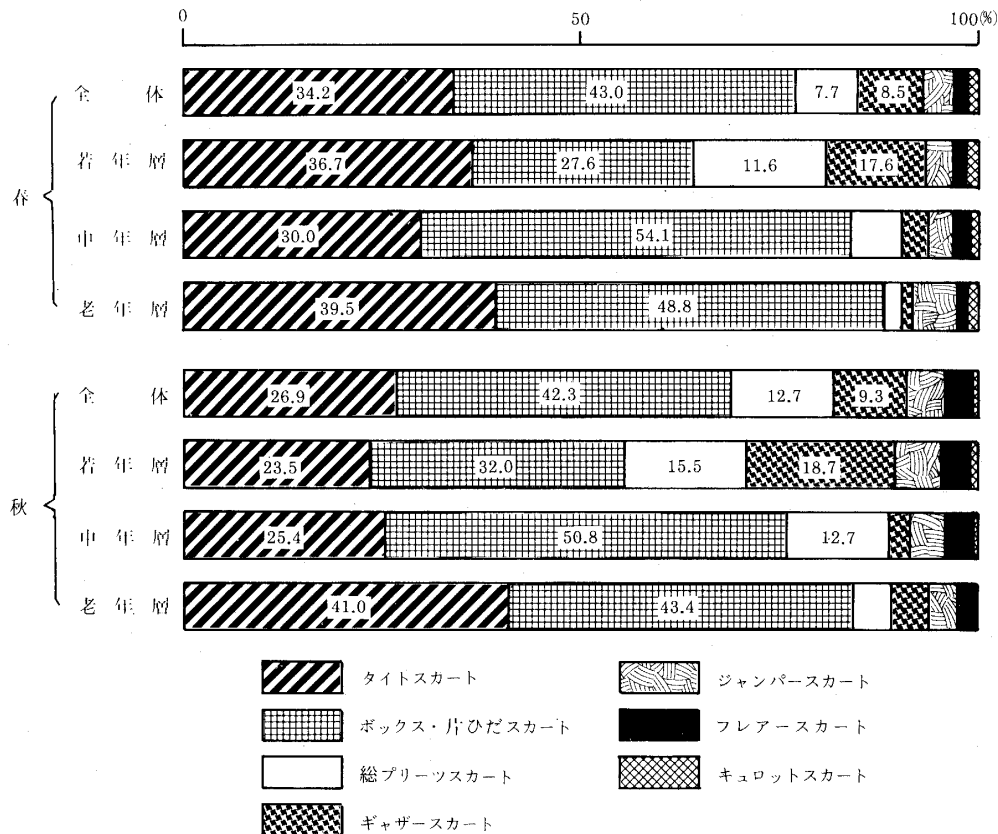


図2 スカートの形

表4 服種別春と秋の色系統

服種	色系統										服種	色系統																
	白	灰	黒	赤	ピンク	橙	茶	ベージュ	黄	グリーン		ブルー	紫	白	灰	黒	赤	ピンク	橙	茶	ベージュ	黄	グリーン	ブルー	紫			
																										若	中	老
ス	若	11.8	11.8	0.0	11.8	5.9	0.0	11.8	23.5	0.0	0.0	5.9	17.5	0.0	若	59.8	2.4	3.0	5.3	10.0	1.2	3.5	4.1	1.8	0.6	5.3	1.2	2.4
	中	0.0	14.3	0.0	3.6	3.6	3.6	7.1	21.4	0.0	10.7	3.6	14.3	17.8	中	25.1	4.2	0.0	5.2	11.0	0.5	11.0	10.0	7.3	0.0	10.0	2.6	13.1
	老	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.4	25.0	0.0	8.3	8.3	8.3	老	8.1	14.9	2.3	0.0	0.0	1.1	18.4	10.3	0.0	2.3	8.1	8.1	26.4
ソ	若	0.0	21.5	0.0	7.1	7.1	0.0	35.7	7.1	0.0	0.0	21.5	0.0	若	62.7	4.8	1.6	3.7	5.3	1.1	3.7	5.8	1.1	1.1	4.8	1.1	3.2	
	中	0.0	8.9	6.7	6.7	4.4	6.7	35.5	4.4	6.7	2.2	2.2	15.6	0.0	中	29.2	2.1	1.0	11.3	7.7	3.1	9.7	11.8	4.1	2.1	6.1	5.6	6.2
	老	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	老	8.4	13.9	1.4	1.4	2.8	1.4	23.6	5.5	0.0	1.4	5.5	11.1	23.6
ジャ	若	12.5	20.8	0.0	4.2	0.0	0.0	12.5	22.9	2.1	2.1	12.5	10.4	0.0	若	13.7	9.8	9.8	12.8	3.9	2.9	3.9	12.8	6.9	0.0	10.8	9.8	2.9
	中	11.1	8.6	2.5	6.2	1.2	1.2	13.6	32.1	0.0	1.2	5.0	12.4	4.9	中	11.7	7.2	9.0	13.6	6.3	0.9	5.4	10.8	4.5	0.9	11.7	5.4	12.6
	老	5.6	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	19.4	22.2	0.0	0.0	5.6	0.0	33.3	老	0.0	33.3	4.8	0.0	0.0	0.0	33.3	4.8	0.0	0.0	4.8	9.5	9.5
ケ	若	0.0	37.5	12.5	6.2	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	18.8	0.0	若	17.9	7.7	10.3	20.5	5.1	2.6	6.4	8.3	6.4	1.3	5.8	5.8	1.9	
	中	8.6	10.4	3.4	10.4	1.7	0.0	20.7	15.5	1.7	0.0	3.4	10.4	13.8	中	11.3	5.1	8.8	18.6	4.6	4.1	12.4	8.3	5.7	2.6	4.6	7.2	6.7
	老	3.0	9.1	12.1	0.0	0.0	0.0	21.2	21.2	0.0	3.0	6.1	6.1	18.2	老	2.0	14.3	12.3	2.0	2.0	0.0	36.8	12.3	2.0	2.0	6.1	4.1	4.1
ン	若	8.7	8.7	0.0	13.0	8.7	4.4	13.0	17.4	0.0	0.0	17.4	8.7	0.0	若	13.8	10.3	3.5	6.9	10.3	0.0	0.0	34.5	3.5	0.0	10.3	6.9	0.0
	中	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	11.7	53.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.7	中	25.9	6.9	3.4	5.2	5.2	0.0	6.9	22.4	0.0	3.4	5.2	12.1	3.4
	老	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	老	7.4	18.5	9.3	0.0	0.0	0.0	9.3	27.8	1.8	1.8	7.4	11.1	5.6
ン	若	5.9	17.7	2.9	5.9	8.8	2.9	20.6	26.5	0.0	0.0	5.9	2.9	0.0	若	1.9	13.5	19.2	25.0	5.8	1.9	5.8	5.8	1.9	1.9	5.8	9.6	1.9
	中	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	13.3	43.3	0.0	0.0	3.4	13.3	0.0	中	8.5	2.1	4.3	12.8	6.4	0.0	25.5	14.9	2.1	0.0	6.4	10.6	6.4
	老	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	老	3.6	14.3	17.8	1.8	1.8	0.0	16.1	14.3	0.0	3.6	8.9	8.9	8.9
ン	若	8.3	25.1	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	16.8	8.3	若	8.0	34.2	7.5	3.8	1.6	2.1	7.0	9.6	0.5	0.0	7.0	15.5	3.2	
	中	0.0	12.2	2.0	2.0	10.2	0.0	24.5	2.0	0.0	2.0	10.2	10.2	24.5	中	4.0	15.5	5.2	3.6	1.2	1.2	14.7	23.4	0.4	0.0	5.9	19.0	5.9
	老	0.0	13.5	5.4	0.0	0.0	2.7	43.3	2.7	2.7	0.0	0.0	10.8	18.9	老	0.0	20.5	5.5	0.0	0.0	0.0	24.7	16.4	0.0	1.4	4.1	9.6	17.8
ン	若	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	若	2.4	30.1	12.9	7.6	1.0	1.9	16.3	6.2	0.0	0.0	0.5	18.2	2.9	
	中	0.0	3.1	6.2	9.2	7.7	1.5	37.0	3.1	1.5	1.5	7.7	1.5	20.0	中	0.9	15.5	12.9	6.4	1.7	2.6	25.7	6.0	0.9	1.3	3.4	19.7	3.0
	老	0.0	5.8	1.9	0.0	0.0	1.9	48.1	5.8	1.9	1.9	1.9	7.7	23.1	老	0.0	19.2	14.1	0.0	0.0	0.0	26.9	7.7	0.0	1.3	1.3	16.7	12.8
ベ	若	7.7	2.5	18.0	15.4	7.7	5.1	10.3	7.7	0.0	2.5	10.3	7.7	5.1	若	4.3	20.3	8.7	1.5	1.5	1.5	8.7	4.3	4.3	1.5	21.7	18.8	2.9
	中	16.0	6.7	9.3	6.7	5.3	0.0	1.3	28.0	1.3	4.0	2.7	8.0	10.7	中	0.0	10.6	10.6	0.0	0.0	2.2	17.0	6.4	4.3	0.0	17.0	21.3	10.6
	老	3.2	22.6	6.5	0.0	0.0	0.0	16.1	19.4	3.2	0.0	3.2	0.0	25.8	老	0.0	14.8	3.7	0.0	0.0	0.0	11.1	14.8	0.0	0.0	3.7	22.2	29.7
ス	若	2.7	10.5	10.5	34.2	2.7	5.2	10.5	10.5	0.0	2.7	7.8	2.7	若	6.4	10.2	15.4	3.9	2.6	0.0	14.1	5.1	0.0	2.6	10.2	26.9	2.6	
	中	10.0	8.6	17.1	10.0	5.7	1.4	12.9	11.4	4.3	2.9	0.0	11.4	4.3	中	1.6	6.6	21.3	0.0	1.6	1.6	8.2	3.3	0.0	1.6	16.4	24.6	13.2
	老	8.8	35.3	8.8	2.9	0.0	0.0	11.8	14.7	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	老	0.0	3.1	6.3	0.0	3.1	0.0	43.7	3.1	0.0	0.0	6.3	6.3	28.1
ト	若	18.4	5.3	0.0	15.8	21.0	0.0	2.6	0.0	5.3	0.0	21.0	5.3	5.3	若	21.6	15.7	6.0	7.1	5.7	1.8	6.3	10.1	2.5	0.4	10.2	9.9	2.7
	中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	中	12.0	9.5	4.4	5.6	5.2	0.9	11.3	18.5	2.6	1.2	7.8	11.0	10.0
	老	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	老	3.7	18.1	4.4	0.0	0.0	0.5	21.2	16.0	0.8	1.0	5.5	8.6	20.2
ナ	若	25.8	6.5	0.0	16.1	6.5	0.0	3.1	9.7	9.7	0.0	16.1	6.5	0.0	若	20.3	14.5	9.1	11.6	3.9	1.8	10.3	7.8	1.9	0.9	4.7	10.7	2.5
	中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	中	10.0	7.3	8.5	10.4	4.4	2.9	18.6	9.6	3.0	1.7	5.0	11.8	6.8
	老	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	老	3.1	14.1	9.3	1.0	1.4	0.5	28.8	9.8	0.5	1.7	4.6	9.1	16.1

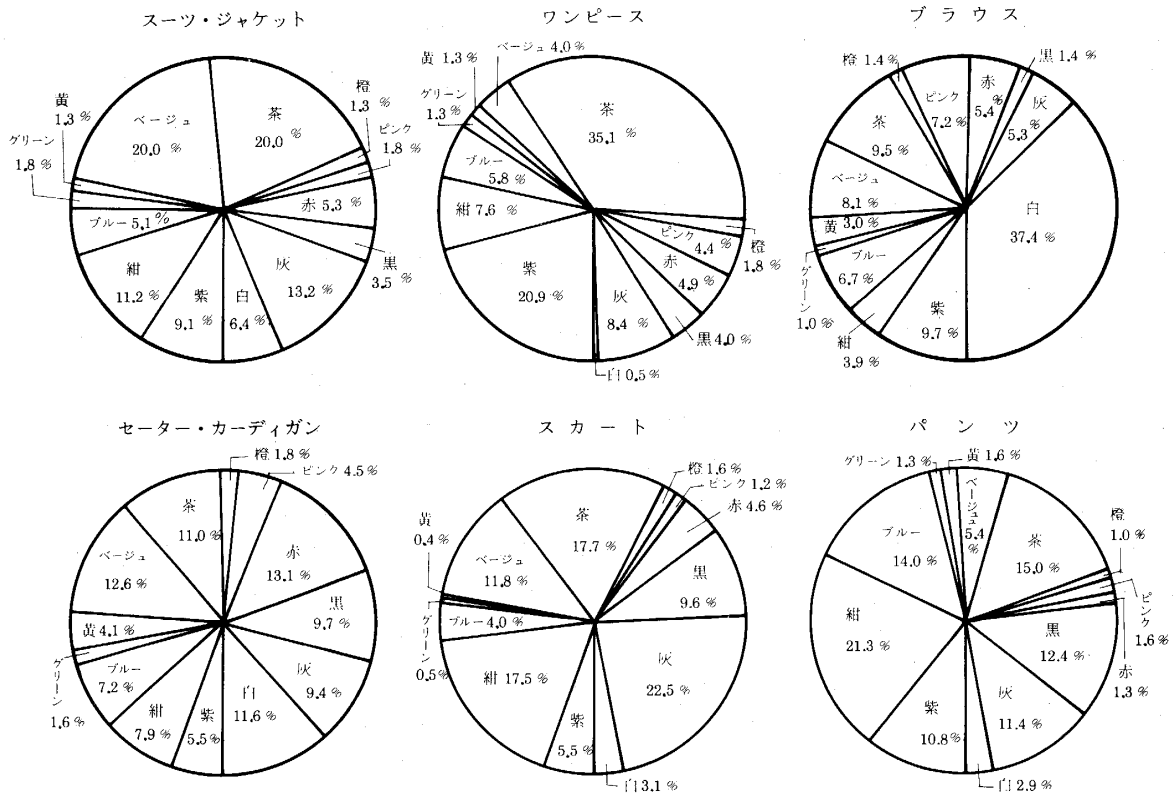


図3 服種別色系統（春+秋）

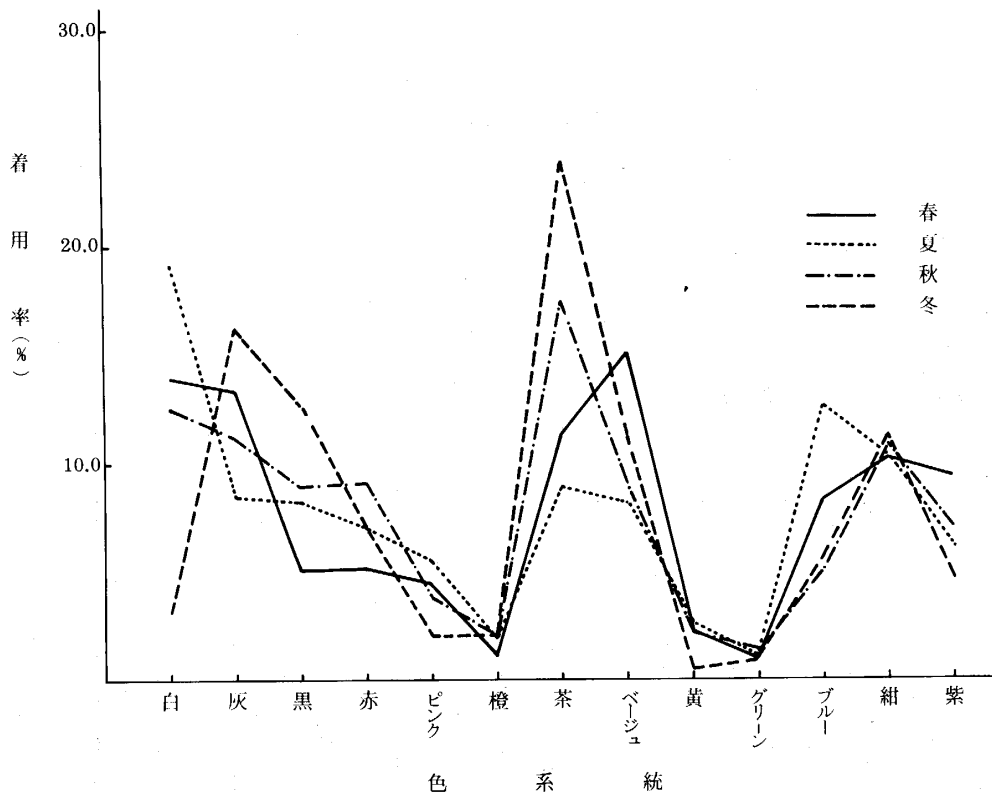


図4 季節別着用衣服の色系統

行なわなかった。まず、服種全体の色系統をみると、春では若年層は白21.6%、灰15.7%と無彩色が多く、中年層はベージュ18.5%、白12.0%、茶11.3%の順で、老年層は茶21.2%、紫20.2%が多い。秋では、春と同様に若年層は白、灰色系統が多く、老年層は茶、紫系統が多くみられるが、中年層は茶18.6%、紺11.8%、赤10.4%の順で春と異なっている。服種別にみると、スーツの春は若・中年層でベージュ、紺系統、老年層で茶、ベージュ系統が多い。秋は若・中年層で茶、紺系統が多く、老年層は着用数が少なく、その傾向はわからない。ワンピースは春・秋のいずれも中・老年層は茶系統が最大を示し、次いで紫系統であるのに対して、若年層は春に灰、紺系統、秋に赤、紫系統が多くみられ、年代層によって春と秋では異なった色系統を示すことがわかった。次に、春と秋をまとめて服種別に色系統をみると、図3に示す通りである。スーツ・ジャケットでは茶、ベージュ系統が多く、ワンピースでは茶、次いで紫系統、ブラウスでは白系統がかなり多い。しかし、セーター・カーディガン類ではこれらの服種と異なって種々の色が着用されている。また、スカートおよびパンツでは茶、紺、灰、黒色系統はいずれにも同じ割合で多く着用されているが、スカートではベージュ、パンツではブルー、紫系統が比較的多く着用されることがわかった。次に、夏・冬の結果も合せて季節別に衣服の色系統をみると、図4に示す通りである。図より、季節によって大きく異なる衣服の色系統として白、茶があげられる。白系統は夏に最大を示し、次いで春・秋の順で冬はかなり低い値を示している。一方、茶は冬に最大を示し、次いで秋、春の順で夏は最小となり、白と全く逆の傾向を示している。ま

た、冬に高い着用率を示す色系統として灰、黒が、夏に高い色系統としてブルーがあげられる。黒や赤系統は春に少なく、茶、ベージュ系統は夏に少なくなっている。さらに比較的多く着用される色系統で、季節差のみられないものに紺系統があることがわかった。

4. 上衣と下衣の色の組み合わせ

上衣と下衣が異なる服種について前報と同様に色系統の組み合わせを年代層別に集計した。表5は若年層の春の結果である。春では上衣がベージュ、下衣が灰色系統の組み合わせが最も多く、次いで上衣がブルーで下衣が紺系統、下衣が灰色系統で上衣が赤、ピンク、ブルー系統の組み合わせがつづいている。表6は若年層の秋の結果である。秋では上衣が赤で、下衣が紺系統の組み合わせが最も多く、次いで下衣が灰色系統で上衣が赤、白系統がつづいており、春とは若干異なるようである。表7は中年層の春の結果である。上衣がベージュで下衣が紺系統が最も多く、次いで上衣が同じベージュで下衣が茶、上衣、下衣とも茶系統がつづいている。表8は老年層の春の結果である。老年層は実調査人数も少ないことから上衣と下衣の色系統の組み合わせは少なく、142人についての結果である。表より、中年層と同様に上衣がベージュで下衣が茶の組み合わせが最も多くなっている。次いで上衣が紫で下衣が茶系統、上衣が茶で下衣が紫系統がつづいており、若・中年層と異なって紫系統の組み合わせが目立っている。秋の結果は中・老年層とも春と大体同じ傾向を示したので表は省略した。そこで、上衣と下衣の組み合わせについて年代層および春と秋の相関を求めてみた。結果は表9、10に示す通りである。表より、若年層と老年層の間

表5 若年層の上衣と下衣の色系統の組み合わせ（春）

上衣 \ 下衣	白	灰	黒	赤	ピンク	橙	茶	ベージュ	黄	グリーン	ブルー	紺	紫	総計	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
白	2	0	0	0	4	0	1	2	1	0	1	0	0	11	3.9
灰	8	8	5	10	10	2	4	17	1	0	10	7	1	83	29.8
黒	3	3	0	1	2	2	1	1	0	0	6	1	2	22	7.9
赤	4	1	0	0	2	0	0	4	0	0	0	1	0	12	4.3
ピンク	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1.4
橙	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	4	1.4
茶	3	2	1	1	0	2	4	5	2	0	2	1	0	23	8.2
ベージュ	5	2	1	2	2	0	2	4	0	0	1	6	0	25	9.0
黄	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	6	2.2
グリーン	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4
ブルー	3	4	1	3	2	0	1	5	3	0	4	1	1	28	10.0
紺	8	4	2	7	3	1	4	2	4	1	11	3	0	50	17.9
紫	1	0	1	1	0	0	0	4	0	0	1	0	2	10	3.6
総計	人	41	24	11	28	25	7	18	47	12	1	37	22	6	279
	%	14.7	8.6	3.9	10.0	2.5	8.9	6.5	16.8	4.3	0.4	13.3	7.9	2.2	100.0

表6 若年層の上衣と下衣の色系統の組み合わせ（秋）

下衣 \ 上衣	白	灰	黒	赤	ピンク	橙	茶	ベージュ	黄	グリーン	ブルー	紺	紫	総計		
															人	%
白	0	0	0	2	0	0	1	0	2	0	1	1	0	7	2.2	
灰	13	9	9	15	6	1	3	7	0	2	3	3	0	71	22.4	
黒	7	5	2	10	1	2	3	3	2	0	2	2	1	40	12.6	
赤	4	3	2	4	0	1	2	2	1	1	0	1	1	22	6.9	
ピンク	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	5	1.6	
橙	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4	1.3	
茶	4	3	5	4	3	2	11	10	2	0	2	2	2	50	15.8	
ベージュ	3	3	3	2	1	1	4	1	0	0	2	1	1	22	6.9	
黄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
グリーン	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.6	
ブルー	1	1	1	2	1	0	1	2	0	0	1	5	0	15	4.7	
紺	6	8	3	19	2	2	3	8	3	1	8	6	0	69	21.8	
紫	3	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	10	3.2	
総計	人	42	33	27	59	17	9	31	36	11	4	21	21	6	317	100.0
	%	13.2	10.4	8.5	18.6	5.4	2.8	9.8	11.4	3.5	1.3	6.6	6.6	1.9	100.0	

表7 中年層の上衣と下衣の色系統の組み合わせ（春）

下衣 \ 上衣	白	灰	黒	赤	ピンク	橙	茶	ベージュ	黄	グリーン	ブルー	紺	紫	総計		
															人	%
白	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	1	1	0	7	2.3	
灰	4	1	5	3	4	0	4	6	3	2	6	5	2	45	14.7	
黒	0	0	0	3	2	1	4	3	0	1	2	0	1	17	5.6	
赤	1	1	0	1	1	0	0	5	1	0	0	1	0	11	3.6	
ピンク	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	5	1.6	
橙	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3	1.0	
茶	5	6	3	2	4	1	12	17	2	0	2	7	7	68	22.3	
ベージュ	6	0	0	0	2	0	3	8	1	0	3	2	3	28	9.2	
黄	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1.0	
グリーン	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0.7	
ブルー	4	3	0	2	1	0	4	5	0	1	0	2	0	22	7.2	
紺	11	4	2	5	5	1	1	20	3	0	4	6	3	65	21.3	
紫	5	1	2	0	3	0	1	7	1	0	1	4	4	29	9.5	
総計	人	37	16	12	17	25	4	29	76	13	4	22	29	21	305	100.0
	%	12.1	5.3	3.9	5.6	8.2	1.3	9.5	24.9	4.3	1.3	7.2	9.5	6.9	100.0	

表8 老年層の上衣と下衣の色系統の組み合わせ（春）

下衣 \ 上衣	白	灰	黒	赤	ピンク	橙	茶	ベージュ	黄	グリーン	ブルー	紺	紫	総計		
															人	%
白	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
灰	0	3	0	0	0	0	7	5	0	0	4	1	1	21	14.8	
黒	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3	9	6.3	
赤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
ピンク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
橙	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.7	
茶	4	2	3	1	0	0	3	10	0	1	3	2	9	38	26.8	
ベージュ	0	1	0	0	0	0	3	4	0	0	1	0	5	14	9.9	
黄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1.4	
ブルー	0	1	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	8	5.6	
紺	1	1	0	0	0	0	4	4	0	0	2	0	3	15	10.6	
紫	1	3	4	0	1	0	7	5	0	0	2	5	6	34	23.9	
総計	人	8	12	8	1	1	0	26	34	1	1	12	9	29	142	100.0
	%	5.6	8.5	5.6	0.7	0.7	0.0	18.3	23.9	0.7	0.7	8.5	6.4	20.4	100.0	

表 9 年代層間の相関

春	秋	若年層	中年層	老年層
若年層			0.775	0.486
中年層		0.617		0.620
老年層		0.441	0.670	

表 10 春と秋の相関

年代層	相関係数
若年層	0.742
中年層	0.731
老年層	0.646

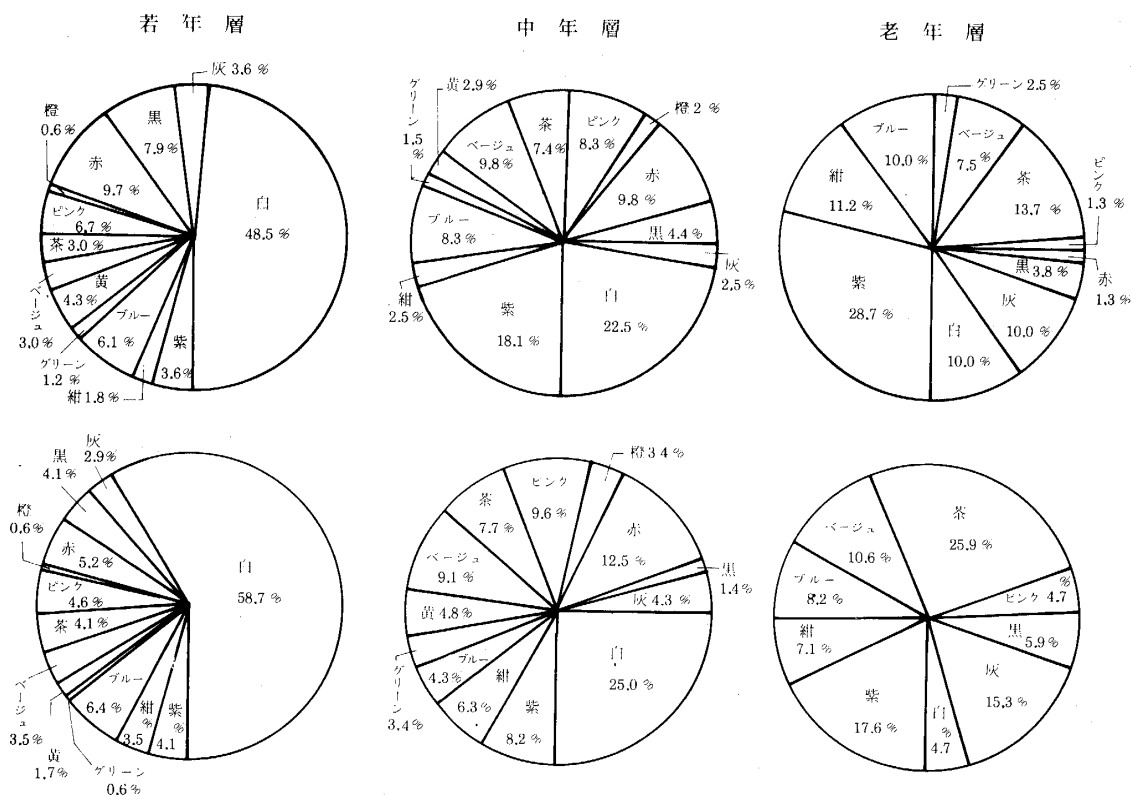


図 5 上衣の重ね着に用いられる色系

にやや低い相関がみられるが、他の年代層間の相関は高くなっている。また、春と秋の相関は老年層でやや値が小さいもののいずれも相関のあることがわかった。次に、色系の組み合わせには下衣はスカートかパンツの一色であるが、上衣はブラウスの上にセーターという様に重ね着の場合がある。特に春と秋の着装形態では重ね着が多くみられた。そこで、重ね着に組み合わせられる色系を図5に示す。図より、若年層は春・秋とも白系統が過半数を占め、中年層は春に白22.5%、紫18.1%が多く、秋には白25.0%、次いで赤12.5%がつづいている。老年層は春に紫28.7%、茶13.7%が多く、秋には茶25.9%、紫17.6%が高率を示している。このように春と秋および年代層によって重ね着に用いられる色系は異なることがわかった。

IV. 総括

春・秋の婦人の服装について街頭撮影を行った結果、つぎのようなことが明らかになった。

1) パンツ形式は春・秋とも若年層が他の年代層に比べて多いのに対して、きもの形式は中年層の一人を除いて老年層にのみみられ、その着装率も春6.1%、秋6.9%と少なかった。

2) 春・秋の着装形態の種類は、夏・冬に比べて多く、春86通り、秋81通りで、春・秋のいずれにも高い着装率を示す形態はブラウス+カーディガン+スカート、ブラウス+ベスト+スカートの2種があげられる。また、春に比べて秋はセーターとスカートやワンピースなど着装形態が軽装になっていることがわかった。これは向寒期の秋が向暖期の春より着衣重量が少ないことと関係があるものと思われる。

3) 春・秋の衿の形およびスカートの形は夏・冬の場合とあまり相違はみられず、むしろ、服種および年代層によって異なることがわかった。

4) 衣服の色系統を季節別にみると、季節差の大きい色系統として白、茶系統があり、白系統は夏に最大を示し、次いで春、秋の順で冬は最小を示した。これに対して茶系統は白と全く逆の傾向を示して冬に最大となり、夏は最小の着装率を示した。また、灰、黒系統は冬に高く、ブルー系統は夏に高い着装率を示した。さらに、季節差のみられない色系統として比較的高い着装率を示すものに紺系統があることが明らかとなった。

5) 上衣と下衣の色系統の組み合わせは年代層により異なり、若年層では灰色系統、老年層では紫系統の組み合わせが多くみられ、若年層と老年層の相関は

低い値を示した。しかし、春と秋の間にはいずれの年代層とも高い相関を示した。

6) 重ね着に用いられる色系統は、若年層では春・秋とも白系統が過半数を占め、老年層では紫、茶系統が高率を示すことがわかった。

なお、本研究の一部は第32回日本家政学会中・四国支部会に発表したものである。

本研究（第1～第3報）は昭和57,58年度島根県の特別研究費の助成により行われたものである。

参 考 文 献

- 1) 阿部邦子・藤井一枝：本誌，21，65（1983）
- 2) 藤井一枝・阿部邦子：本誌，23，11（1985）

（昭和60年10月28日受理）